

安心で笑顔を築く生活充実予算 総額736億6,900万円を可決

— 予算審査特別委員会のあらまし —

平成24年度予算は、本会議での質問・質疑に続き、全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、各分科会で審査されました。

一部の予算に反対意見がありましたが、起立採決の結果、賛成多数で可決されました。

本会議での質疑

質問・質疑では、市長にその方針を問いました。

〔主な質疑〕

国民健康保険について、耐震工事について、放課後子ども教室について、刈谷豊田総合病院への補助金について、亀城公園整備事業について、歴史博物館建設について、福祉予算について、福祉予算とまちづくり予算のバランスについて

分科会・委員会での審査

質問・質疑終了後、予算審査特別委員会を経て各分科会で審査されました。

21日に開催された予算審査特別委員会では、各分科会での審査の経過と結果が報告され、一般会計、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険の各特別会計及び水道事業会計に反対の意見がありました。採決の結果、賛成多数により原案のお



施政方針演説を行う市長

り可決されました。

22日の本会議では、予算審査特別委員会の報告を受け、討論が行われました。

討論では、亀城公園整備基金に25億円を計上していること、刈谷豊田総合病院への補助事業は見直すべきであること、保育園や第二学校給食センターの給食調理業務が民間委託されていることなどに反対であるとの意見が出されましたが、採決の結果、議案はいずれも原案のとおり可決されました。

【分科会での主な質疑】

■企画総務

ホームページリニューアル事業の内容について、入札監視委員会の役割や活動について、防犯LED化の効果について

■福祉経済

病診連携推進の仕組みについて、障害者支援センターの概要について、環境支援員の育成について、ファミリーサポート運営事業について、刈谷知立環境組合分担事業について

■建設水道

橋りょう長寿命化修繕計画のスケジュールについて、亀城公園等再整備計画の総事業費と内訳について、水道料金収納等業務委託による検針業務について

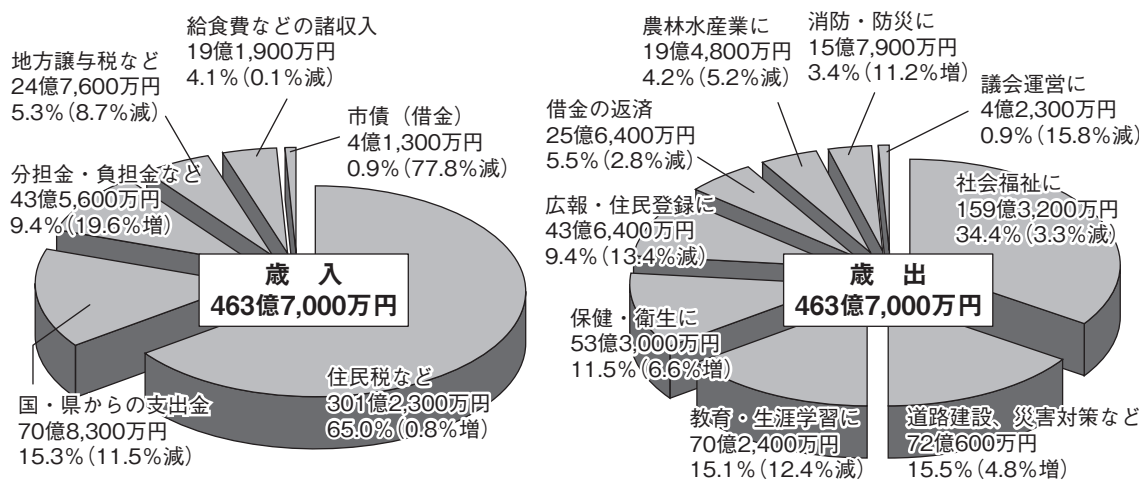
■文教

小学校太陽光発電の設置について、放課後子どもプランの課題について、コンピュータ教育について、公共施設予約システムの更新について、アレルギー対応給食の現状について

24年度予算の総額

会計名	本年度	前年度比較	伸び率
予算総額	736億6,900万円	▲ 8億8,500万円	▲ 1.2%
一般会計	463億7,000万円	▲16億4,000万円	▲ 3.4%
特別会計	237億2,100万円	13億2,800万円	5.9%
小垣江駅東部土地区画整理事業会計	3億 500万円	▲ 2,900万円	▲ 8.6%
野田北部土地区画整理事業会計	1億2,700万円	▲ 100万円	▲ 0.8%
下水道事業会計	49億 200万円	4億4,300万円	9.9%
国民健康保険会計	112億8,800万円	6億3,800万円	6.0%
後期高齢者医療会計	12億1,700万円	5,100万円	4.4%
介護保険会計	58億8,200万円	3億4,600万円	6.2%
半城土高須土地区画整理事業会計	0万円	▲ 1億1,900万円	-
企業会計	35億7,900万円	▲ 5億7,300万円	▲13.8%
水道事業会計	35億7,900万円	▲ 5億7,300万円	▲13.8%

一般会計の内訳 (前決算年度対比)



〈地方譲与税その他の内訳〉 利子割交付金・配当割交付金・株式等譲渡所得割交付金・地方消費税交付金・自動車取得税交付金、地方特例交付金・地方交付税・交通安全対策特別交付金

〈分担金、負担金他内訳〉 使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金

〈農林水産業他内訳〉 労働費、商工費、災害復旧費、諸支出金、予備費

(注) それぞれの数字は四捨五入しているため、総額や割合と一致していない場合があります。

特別会計と企業会計のあらまし

本市には一般会計のほか、特別会計が6会計と企業会計が1会計あります。予算総額のうち、特別会計は237億2,100万円(32.2%)、企業会計は35億7,900万円(4.9%)を占めています。

特別会計は、自治体が特定の事業を行う場合などに、一般会計から分離して経理を行うものです。

企業会計とは、株式会社等の民間企業と同様の会計方式により、経理を行います。

特に、水道事業の運営は、「地方公営企業」の一つであり、公営という面と企業という面を持っているため、一般会計、特別会計とは別に、収支を計上します。

特別会計

土地区画整理事業……公共施設の整備改善と土地の利用増進を図り、健全な市街地の造成を目的としています。

〈小垣江駅東部地区〉 施行面積 81.7%

主な事業：建物等調査委託、整地工事(1,580平方[㎡])、物件移転(1件)ほか

〈野田北部地区〉 施行面積 4.4%

主な事業：画地確定測量委託、整地工事(407平方[㎡])、物件移転(2件)ほか

下水道事業……家庭等の生活排水を適切に排除し、快適な生活環境を確保するとともに、川や海の水質を保全し、自然環境を守ります。また、雨水を速やかに排除し、浸水被害から住民の安全を確保します。

国民健康保険……相互扶助の精神にのっとり、保険加入者の医療費の負担や、出産、葬祭に関わる費用を支給します。

後期高齢者医療……老後における健康の保持と医療の確保を図り、世代間の負担を明確化することで、高齢者の福祉を増進します。

介護保険……介護が必要になっても住み慣れた地域や自宅で、できるだけ自立した生活を送ることができるよう、介護サービスの体制を整えます。

要介護・要支援認定者が介護サービスを利用した際に費用の9割分を保険から給付します。また、要介護・要支援状態になるおそれの高い方に、予防事業を実施します。

企業会計

水道事業……安全で良質な水道水を常時安心して使用できるよう万全の体制を整えます。

給水戸数61,001戸、年間総給水量17,614,000立方[㍎]、1日の平均給水量48,300立方[㍎]

平成24年度施政方針に見る主な事業 竹中良則 市長

市民の皆様が“元気で幸せ”を実感できるまちづくりの実現に向けて、市民生活の維持向上に重点を置き、効率的で効果的な行財政運営を進めます。



都市環境分野

生活の質の維持・向上を目指し、都市と自然が共存した魅力ある住みよいまちづくりを推進します。

- ・旧市民会館跡地にセントラルパークを整備し、市中心部の緑を創出 **7,400万円**
- ・城址公園的な桜の名所として亀城公園を再整備 **9,100万円**
- ・防犯灯を蛍光灯からLED灯に取替え、消費電力を抑えるとともに環境への負荷を配慮 **1,200万円**

産業振興分野

農業、商業、工業とバランスの取れた産業振興を図り、誰もが笑顔で働ける、賑わいのある明るいまちづくりを推進します。



- ・既存事業及び新規事業において離職者を臨時的、一時的に雇用 **4,900万円**
- ・市内中小企業に向けて、雇用安定、相談対応、技術開発、円滑な融資などを支援 **2億800万円**
- ・市が見本市などの複数小間のブースを借り上げ、刈谷市のPR活動を行うとともに、市内事業者に出展機会を創出 **420万円**
- ・刈谷ハイウェイオアシスのオアシス館刈谷を改修し、衣浦定住自立圏構想に基づき知立市、高浜市、東浦町の観光情報を含めたPRを実施 **3,400万円**



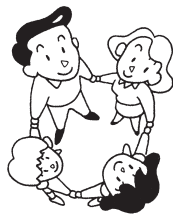
福祉安全分野

より良い保健・福祉サービスを提供するとともに、災害や犯罪などへの安全性を高め、安心して暮らせるまちづくりを推進します。

- ・障害者支援センターを開設し、障害のある人の就労・生活相談、自立訓練などを実施 **5,700万円**
- ・刈谷豊田総合病院が行う健診・検査機能の充実などに向けた新病棟の整備、感染症指定医療機関の機能整備に向けた既存病棟の改修を支援 **2億6,600万円**
- ・認可外保育所へ通う3歳未満児の保護者に、所得に応じた保育料を助成 **3,000万円**
- ・子育て中の母親の孤立を防ぐため、子育て相談などを行うサポーターが家庭を訪問 **130万円**
- ・災害発生時に緊急情報を瞬時に伝達する同報系防災行政無線設備などを整備 **7,800万円**
- ・東境・元刈谷の旧JA支店跡地に拠点的な防災備蓄倉庫を整備するとともに、各避難所の備蓄倉庫を順次更新 **5,100万円**

計画推進分野

市民と行政の信頼関係を深め、豊かで魅力あるまちの実現に向けて協働できるまちづくりを推進します。



- ・市のホームページをリニューアルし、幅広い情報を魅力的に公開 **2,200万円**
- ・事業改善や第7次総合計画の進捗管理を目的として、外部評価を取り入れた行政評価を実施 **220万円**
- ・公共施設の建替や大規模修繕の方針、財政負担の平準化などを検討し、維持保全計画を策定 **880万円**



教育文化分野

確かな学力の定着と豊かな人間性の育成をめざした学校づくりや、学習する意欲と能力を養い、生涯にわたって学習できる都市づくりを推進します。

- ・旧社会教育センターを改修し、就園・就学相談など、子どもに関する総合的な相談窓口とする子ども相談センターを整備 **1億1,800万円**
- ・桜、小垣江の各市民館にエレベーターを整備 **7,400万円**
- ・学校、家庭、地域が連携して、放課後の安心・安全な居場所を提供する放課後子ども教室を拡充 **1,400万円**
- ・小惑星探査機「はやぶさ」の帰還カプセルなどを展示 **570万円**
- ・過去の議会活動等の調査や資料収集を行い、議会史を編集 **240万円**

教育行政方針（要旨） 太田 武司 教育長

学校教育に期待されている、子どもたちの「生きる力」を育むとともに、生涯学習の推進をはじめ、芸術文化、スポーツの普及、振興など各種事業の開催や市民活動への支援を図ります。

学校教育の充実

- ・日本語がうまく話せない外国にルーツを持つ子どもたちのために、生活習慣や言語を学べるプレスクールを充実 **1,240万円**
- ・中学校の部活動活性化のため、外部指導者を増員し、地域や地元企業と連携 **370万円**
- ・児童の増加に向けて富士松東小学校を増築 **1億1,500万円**
- ・鶏卵アレルギー対応給食を中学校まで拡大し、安全な給食を提供 **40万円**

生きがいをもつ生涯都市づくり

- ・2009年に「つみきのいえ」で米国アカデミー賞短編アニメーション賞を獲得した加藤久仁生展、刈谷出身グラフィックデザイナーの太田幸夫展などを開催 **3,300万円**



アニメーション「つみきのいえ」完成版/2008年 ©ROBOT

- ・書誌学者森銑三、童話作家森三郎兄弟を紹介するDVDを作成 **680万円**
- ・刈谷城や江戸時代の歴史等を紹介する記念展覧会や歴史講演会を開催するとともに、刈谷城のCGを作成 **860万円**